

News Release

2017年3月29日

東京スター銀行
福岡県久留米市内の病院と有料老人ホームを対象不動産とする
ノンリコースファイナンスを実施
～ 新たなアセットタイプとして病院を対象とする取り組みも強力に推進 ～

株式会社東京スター銀行(東京都港区、代表執行役頭取 CEO 入江優)は、医療・介護需要の増加を背景とする超高齢社会を支える病院や介護施設などのインフラの維持および整備のニーズに応えるため、このたび、福岡県久留米市内の中規模病院と有料老人ホームを対象とする不動産流動化案件に対して、不動産投資会社と協働してノンリコースファイナンスを実施しましたのでお知らせいたします。

当行は、医療機関、シニア/ヘルスケアビジネスを重点分野と位置付け専門部署を設置しています。2003年以降、他行に先駆けて取り組んできた有料老人ホームを対象とするノンリコースファイナンスでは、すでに全国を対象に実績を挙げていますが、本件は、病院も対象にする新たなアセットタイプへのノンリコースファイナンスで、銀行業界では珍しい取り組みになります。

地域医療を支える全国の病院や診療所では、老朽化した施設の建て替えや運営する医療法人の財務の健全化、過去の設備投資などで重い負債を抱えた医療法人の後継者へのスムーズな事業承継などを背景としたファイナンス需要が高まっています。さらに、2015年6月に国土交通省より発表された「病院不動産を対象とするリートに係るガイドラインの概要」においては、将来的な病院不動産のリートへの組み入れ拡大が大いに期待されています(※)。

当行では、医療機関、シニア/ヘルスケアビジネス分野での多くの事例・経験にて培った高度な専門知識やノウハウ、情報ネットワークなどの強みを最大限に発揮し、質・量の両面から高まる、超高齢社会を支える医療機関や介護施設などのインフラ整備への貢献をさらに加速してまいります。

(※)主に老人ホームなどの介護施設を対象にした「ヘルスケアリート」はすでに存在しています。

以上